

ファンクションテストシステムの概要

1. 特徴

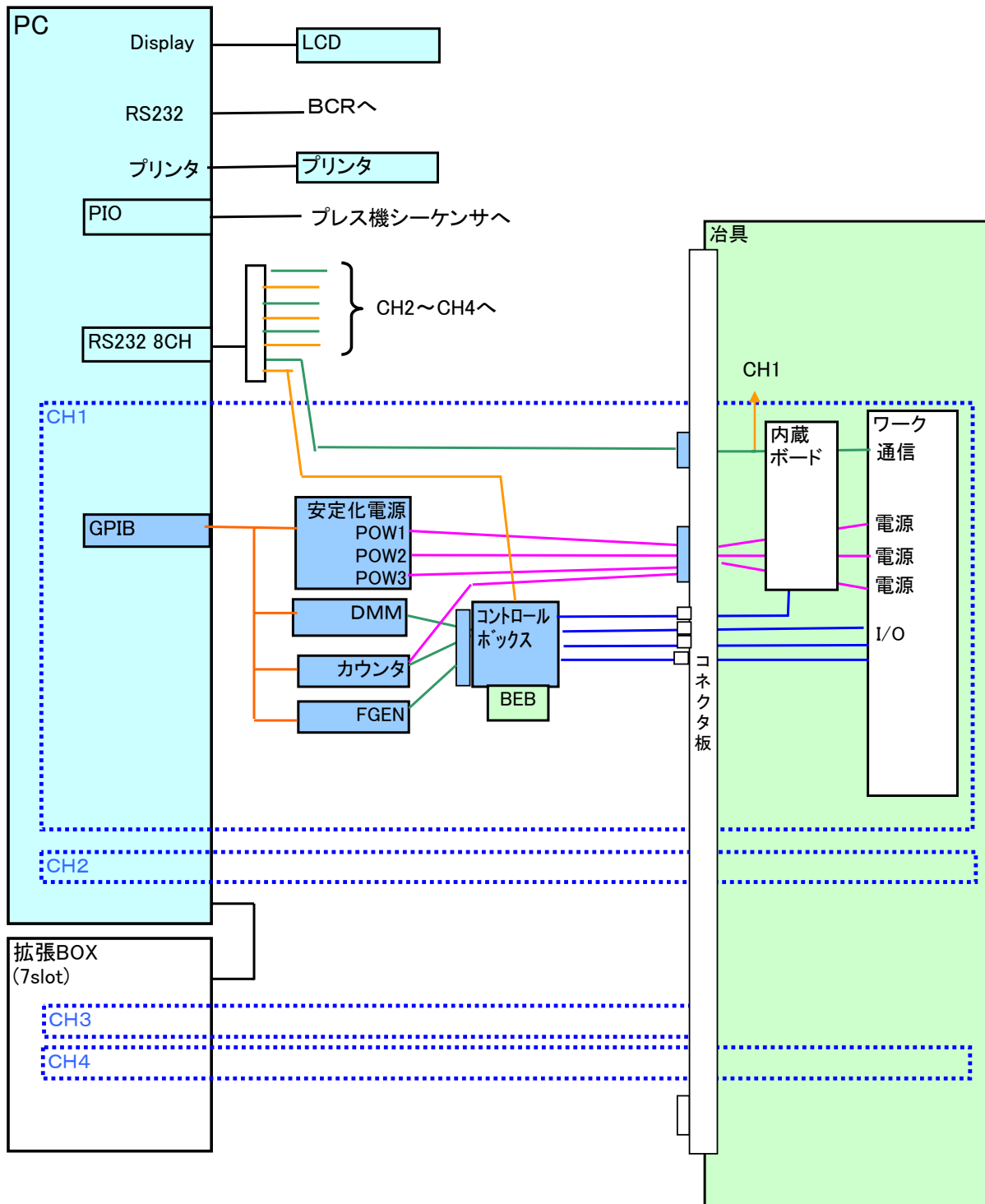
基本機能として、電源供給制御、被検査基板の状態制御、電圧・電流・周波数等の測定・判定、コマンドの送信・レスポンスを行う事が出来ます。 その特徴は下記のようなものです。

- ① マルチタスクで最大6枚までの製品検査が可能で、大幅な時間削減が実現できます。
- ② テスト順、期待値、計測器の動作モード、検査内容を簡単に変更可能で、機種毎プログラムへの展開も容易です。
(ただし権限のある人のみ変更可能のようにガードされています)
- ③ 制御・計測・通信の実行は簡易言語(テキスト)で行う事ができ、扱い易いユーザーインターフェイスです。
- ④ GP-IB計測機が増設可能で、汎用性の高いシステムです。
- ⑤ テストプログラム内で行われる対象物への制御・測定・判定等の内容はテスター画面に一覧表示され、どのような検査を行っているかが一目瞭然です。
- ⑥ 測定結果のログが自動保存されるので、品質管理等に再利用可能です。

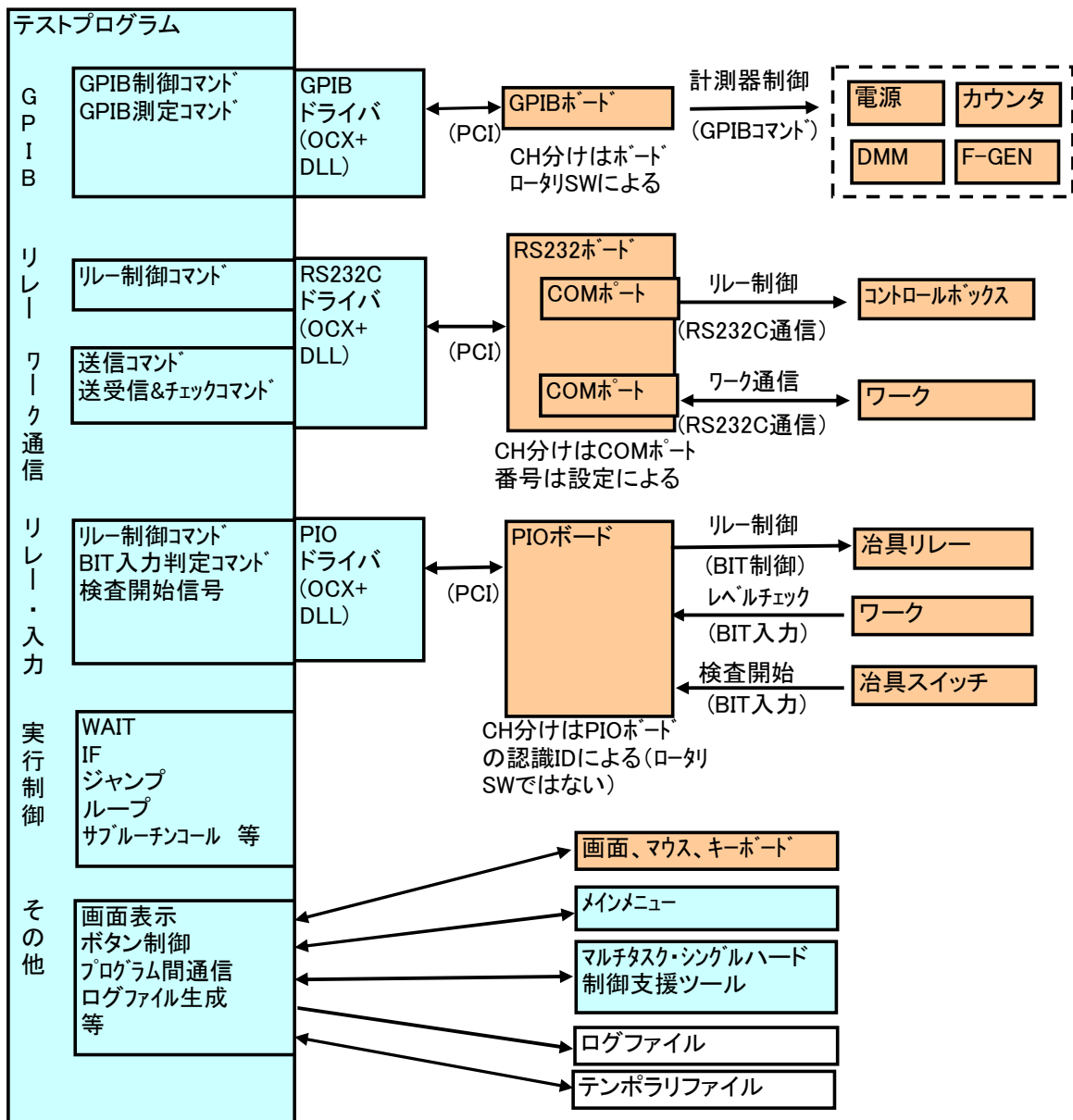
2. 機能概要

- ① 1個の制御項目は1行のテストステップにより実行され、検査の実行と伴にリアルタイムに更新され、総合検査結果だけでなく、製品の現在の個別の測定値の状況も一目でわかります。
- ② 検査対象毎のテストプログラムは、テスターの実行プログラムとは分離されたパラメータファイル群(複数)に記載されており、段取り替えはそのパラメータファイルを読み替えるだけで可能です。
- ③ 検査の開始、中断、パラメータの読み込み等の制御ボタンと、良品、不良品数のカウント等の表示が画面に配置され、操作が容易です。
- ④ 下記の計測、制御ハードが使用可能です。型番等詳細についてはお問い合わせください。
それ以外の機器に関しては個別に開発拡充いたします。
マルチメータ(ADC社(旧アドバンテスト社))
周波数計測(岩通計測社)
ファンクションジェネレータ(岩通計測社)
安定化電源(テクシオ社(旧ケンウッドTMI社))
PIOボード(インタフェース社)
ADコンバータ(インタフェース社、タートル工業社)
ロジアナボード(インタフェース社)
ラジオコミュニケーションアナライザ(アンリツ社)
スペクトラムアナライザ(アンリツ社)
RS232C通信(PC内蔵、インタフェース社)
バーコード読み込み
その他
- ⑤ テストプログラム内では下記の動作制御が可能で、柔軟なテストプログラムが可能です。
ウエイト
ダイアログボックス表示
ラベル行へのジャンプ
測定結果での実行順分岐
測定リトライ
その他
- ⑥ 一連のテストステップをテンプレートとして登録しておけば、支援プログラムにより簡単に動作用のテストステップに展開可能なので、効率的なプログラム開発、デバッグができます。
- ⑦ 検査結果のログはOK、NG毎に別ファイル保存され、内部には下記項目が記載されます。
機種、シリアルNo、日付、時刻、ステップ番号、ラベル名、項目名、計測結果、測定単位、規格値、判定結果

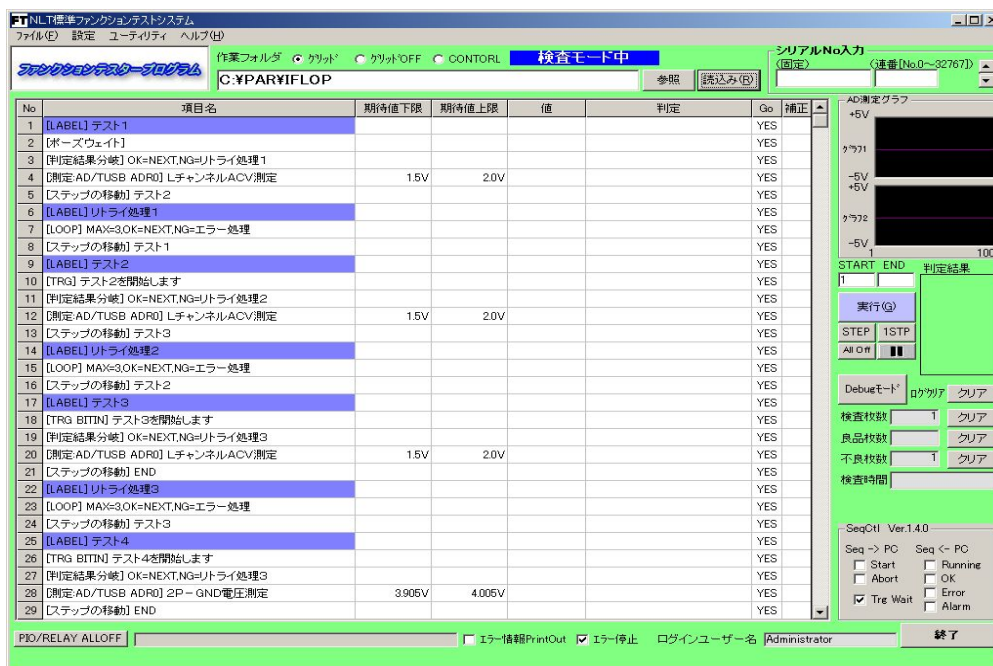
3. ハードウェアブロック図(例)



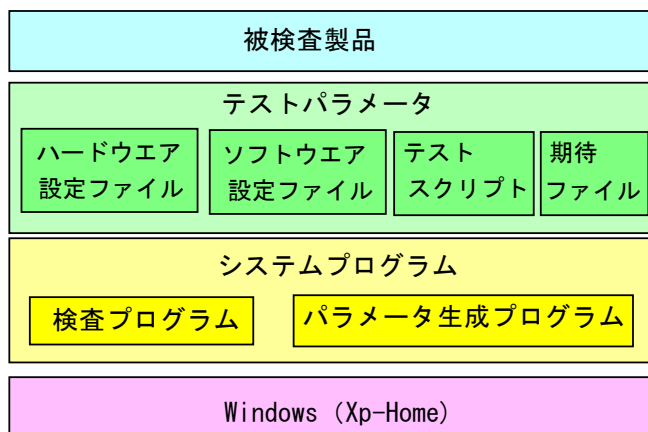
4. ソフトウェアブロック図



5. 画面イメージ



6. 主なソフトウェア構成



◎テストパラメータ
被検査製品毎に作成し、各機種用のデータをWindowsの1つのフォルダに保存・管理します。
機種の段取り変え時には、対象フォルダを変えて読みこみます。

◎システムプログラム
自動検査とテストパラメータ生成が可能。
機種依存しません。

主なテストパラメーター一覧

区分	内容	目的
テストスクリプト	制御、計測の内容、方法を順番に記述したもの	テスターの動作を正しい手順で実行するために使用
ハードウェア設定ファイル	テスターのハードウェアの動作設定を記述したもの	システムプログラムがテスターを正しく制御するため
期待値ファイル	各テストでの上限、下限の計測判定値を記載したもの	プログラムが各テストでのOK、NGの判定に使用
ソフトウェア設定ファイル	検査プログラムが動作する際の諸条件を制御する	検査プログラムが動作するために必要な設定ファイル